

[本文へ](#)[サイトマップ](#)[文字サイズ](#)[標準](#)[拡大](#)[音声読み上げ](#)[English](#) | [中文簡体](#) | [中文繁体](#) | [한국](#) | [Español](#)**あきる野市**Akiruno City [トップへ戻る](#)**暮らしの情報**[暮らしの案内や手続きなど](#)**市政情報**[市の概要や施策・計画など](#)**施設案内**[施設の位置、案内など](#)**観光情報**[観光、みどころ、イベントなど](#)**事業者の方へ**[入札、契約、企業支援など](#)[トップ](#) > [暮らしの情報](#) > [ごみ・環境・衛生](#) > [動物・害虫](#) >

> 飼い主のいない猫についての対策

[2017年7月18日]

飼い主のいない猫について

飼い主のいない猫、いわゆる野良猫については、さまざまなご意見が市に寄せられています。

ふん尿や無分別な餌やりによる臭気の被害、抜け毛などによるアレルギー反応、つめとぎなどによる自動車や家屋などへの物損被害など、理由はさまざまですが、環境衛生問題としてのご意見がほとんどです。

捕獲・処分して欲しいという相談もいただきますが、猫は法律で愛護動物と定められており、むやみに捕獲や処分を行うことができません。

一方で、「かわいそうな猫を助けてあげたい」、「これ以上増えないように不妊去勢手術を受けさせたい」など、動物愛護の観点からのご意見もいただいております。

このような飼い主のいない猫の問題解決のための方法として、「TNR」、「地域猫」といった活動があります。

「TNR」とは

T（トラップ：猫を捕まえて）

N（ニューター：不妊去勢手術を行い）

R（リターン：元の場所に戻す）

といった、飼い主のいない猫を増やさないための対策です。手術を終えた猫からは子猫が産まれないため、頭数の抑制が見込まれます。

「地域猫」とは

地域の理解と協力を得て、地域住民の認知と合意が得られている、特定の飼い主のいない猫。その地域にあった方法で、飼育管理者を明確にし、飼育する対象の猫を把握するとともに、フードやふん尿の管理、不妊去勢手術の徹底、周辺美化など地域のルールに基づいて適切に飼育管理し、これ以上数を増やさず、一代限りの生を全うさせる猫を指します。

地域猫活動は地域住民と飼い主のいない猫との共生をめざし、不妊去勢手術を行ったり、新しい飼い主を探して飼い猫にしていくことで、将来的に飼い主のいない猫をなくしていくことを目的としています。

（環境省：[住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン](#)より抜粋）

あきる野市内では

市では、飼い主のいない猫問題の解決方法として、社会福祉協議会に登録のあるボランティア団体とともに、平成28年度から「[公益財団法人どうぶつ基金](#)」（*1）が実施している「[さくらねご無料不妊手術事業](#)」の支援を受け、手術チケット（*2）を利用し、市内の飼い主のいない猫に不妊去勢手術を施した後、元居た地域へ戻されました。また、不妊去勢手術を施した飼い主のいない猫のうちの一部は、ボランティア団体の協力により、新しい飼い主さんの元へ譲渡されました。

地域に戻された飼い主のいない猫は、ボランティア団体の方々と地域の協力者により、適切な方法で給餌し、トイレの設置やふん尿の清掃を行い、環境衛生問題が発生しないように管理をいただいております。

（*1）「公益財団法人どうぶつ基金」とは

動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設に寄与することを目的とする公益財団法人です。

（*2）「さくらねご無料不妊手術事業」の手術チケットとは

どうぶつ基金が発行している無料不妊手術チケットで、全国の協力病院で使用できます。

手術を終えた猫は、手術済のしるしとして耳先をさくらの花びらの形にカットします。この耳のことを、「さくら耳」といい、耳先をカットされた猫を「さくらねご猫」といいます。

耳」といい、耳先をカットされた猫を「さくらねこ」といいます。

[さくらねこTNR](#)は猫や犬とヒトが幸せに優しく共生できる社会を目指す公益財団法人どうぶつ基金とあきる野市健康福祉部健康課の協同事業です。

TNR実績

不妊去勢手術・譲渡実績		
	手術頭数	保護・譲渡頭数
平成28年度	50頭	10頭
平成29年度（5月末実績）	20頭	4頭

飼い主のいない猫をなくしていくために

飼い主のいない猫は、苛酷な環境の中で交通事故や感染症などの危険にさらされながら、懸命に生きている「命あるもの」です。

そのような飼い主のいない猫をこれ以上増やさないために、市内にも個人やグループで地道な活動をされている方々がいます。

しかし、無責任な餌やりや、不妊去勢手術をしていない飼い猫の放し飼いをすれば、飼い主のいない猫を減らしていくことができないのです。

かわいそうだからと、ただ餌を与えるだけでは子猫が次々に生まれ、かえって不幸な猫を増やし、生活環境を悪くして、住民トラブルの原因にもなってしまいますので、適切な管理をしないのであれば止めてください。

また、飼い猫は屋内飼育が推奨されています。飼い主のいない猫を増やさないためにも、繁殖を望まない場合には不妊去勢手術をして、適正に飼育してください。